

働く女性のためのセミナーを開催しています（第4回レポート）

平成25年度 企業等における若手女性リーダー養成事業

県内の企業や団体にお勤めの若手女性社員（職員）のみなさんを対象に、次世代のリーダーや管理職として職場で活躍していただくためのセミナー「働く女性のためのアバンセ・セミナー」を開催しています。

全5回の本セミナーは、企業・団体の皆様に社員（職員）研修としてご利用いただいています。

- 主催 佐賀県立男女共同参画センター（アバンセ）
- 後援 佐賀労働局、佐賀県経営者協会、佐賀県商工会議所連合会、佐賀県商工会連合会

※本セミナーの参加受付は終了しておりますのでご了承ください

※プログラム詳細についてはこちらをご覧ください

 [働く女性のためのアバンセ・セミナー（ちらし）](#) (592KB; PDFファイル)



● 第4回 ビジネススキル開発(2) 「コアパーソンとして求められる問題解決能力」



第4回は「コアパーソンとして求められる問題解決能力」。講師の平山猛さん（株式会社トライログ代表取締役）は「女性に問題解決能力が足りないということは決してありません」と語りかけ、仕事の技術を身に付けていく過程で「業務遂行能力」や「対人関係能力」に加えて問題の本質を捉える「概念化能力（コンセプチュアルスキル）」が今後ますます必要になってくることを説明されました。

問題を解決する過程で、まず状況を捉えて全体像を把握することが大切だと述べられ、続いて受講者は一番シンプルな問題解決法という「タテ×ヨコの問題解決法」のワークを行いました。1つの問題について、「縦に掘り下げる」と「横に広げる」の質問をしながら効果的な解決法を導き出していくものです。受講者は4色の付箋紙を使って、「疑わしい問題」、「解決できる問題」、「解決できない問題」などに書き分け、A4用紙に貼り付けて「タテ×ヨコの問題解決法」を図式化していきました。

後半のグループディスカッションでは、職場のコミュニケーションについて「現在の状況」と「理想の姿」を模造紙に書き出し、それらの相違点から解決したい問題を1つ挙げ、「タテ×ヨコ」の解決法を用いて問題の全体像を把握しながら解決策を探りました。平山さんは、問題の本質がどこにあるかを見極めること、目の前のことだけ解決しようとせず、「掘って」「広げて」解決の優先順位をつけていくことが重要だと述べられました。

（平成25年11月13日

開催）

● 第3回 ビジネススキル開発(1) 「一歩進むためのコミュニケーション力」



第3回目は金子由佳里さん(有限会社サイズ・コミュニケーションズ専任講師)を講師に、仕事を円滑に進めるための「コミュニケーション力」を磨くトレーニングを行いました。

「とても優秀な人を集めてチームを作ったとしても、コミュニケーション力が欠けていれば人数分の力が発揮できません」と話し始めた金子さんは、まず相手と自分の双方を尊重する「アサーティブコミュニケーション」の考え方を説明されました。

続いて受講者は、「アサーティブネス度チェックシート」を使って、主張的・非主張的・攻撃的の3つのコミュニケーションタイプの傾向をつかみました。さらに、「発展的にNOを言う」、「頼みごとをする」、「ネガティブなフィードバックをする」など、職場でのさまざまなケースを想定したロールプレイを通して、「アサーティブな伝え方」の手法を学習しました。

金子さんは、「物事の見方や捉え方は人それぞれに癖があり、それらの思い込みを緩めると、相手にきちんとNOが言えたり、提案できたりします」と述べられ、ぜひ職場でアサーティブコミュニケーションを実践して、と呼びかけられました。

また、「ロジカルコミュニケーション」について、「論理的に話す」ということは、話を難しくすることではなく、簡潔にすることです」と“論理的に”を嫌なことだと思わないようアドバイスし、セミナー初日のプレゼンテーションを例に、結論から先に話し始める「PREP法」の実践を勧められました。

(平成25年10月23日開催)

● 第2回 ロールモデルセッション & 交流会



第2回は佐賀県及び福岡県で活躍する管理職の女性3名をトークゲストとして招き、これまでの働き方や管理職になってやりがいを感じたことなどを順番に語っていただきました。



土谷さんは、これまで県内・県外の支店で仕事を継続させてきたことや、仕事と子育てをしながら、36歳からは夜と週末に大学に通って学んだ経験を語られました。「これからは女性も頑張って上を目指さない、と上司が導いてくれたし、いろんな人が支えてくれた」と振り返り、「女性は仕事を続けるのが困難な時期もあるかもしれないが、まずは飛び込んでやってみるのもよいのでは」とアドバイスされました。

写真左

土谷和子さん(株式会社ゼンリン 制作本部制作統括室 業務管理部副長)

光武さんは、激務だった大学病院勤務時代に、特定分野での高度な知識と技術力を認められる“認定看護師”の資格取得を断念した経験や、現病院で看護部長を引き受けるきっかけとなった恩師の言葉などを紹介しながら、「夢をあきらめないで頑張ってください。周りのせいにならないで、まずは自分が積極的に行動するように変化して」と何事にもプラス志向で前向きに臨むようメッセージを送られました。

写真左

光武弘子さん(医療法人社団敬愛会 佐賀記念病院 看護部長)



宮浦さんは、会社員だった20代の仕事の楽しさが忘れられずに子育て中にパートを始め、資格取得などを経て社内で初めての正社員転換者となった経歴を紹介し、「女性の部長がいつも背中を押してくれている。『管理職になると見える景色が違う』と聞いていたが、入ってくる情報が違うと感じた」、「判断する権限を与えられるので仕事のスピードが速まる」などと管理職のやりがいの大きさを語られました。



写真右

宮浦小百合さん（株式会社不動産中央情報センター 総務人事課 係長）

「ロールモデルの存在はキャリア形成のうえで大きな影響力を持つ」、「社内に相応しい人がいなければ社外で探すことも重要」という進行役の高見真智子さん（有限会社サイズ・コミュニケーションズ代表取締役）のアドバイスを挟み、後半の交流会では受講者と一緒に3名のトークゲストも着席して互いに交流を深めました。

（平成25年10月9日開

催）

● 第1回 女性のためのキャリア開発



セミナー初日は33人の受講者が6つのグループに分かれて着席しました。「キャリア開発とは何か？」の本題に入る前に、講師の高見真智子さん（有限会社サイズ・コミュニケーションズ代表取締役）は、働く女性をめぐる職場の変化について、スライドを使用しながらその特徴を挙げられました。

IT化・グローバル化が進み、労働力人口が減少していく中で、企業はより優秀な人材を獲得し、その定着のために働きやすい環境をつくらなければならないこと、また、多様な顧客のニーズに応えるために、女性を含む多様な人材の活用が欠かせないことを挙げ、「『女性の活躍推進』と『働き続けるためのワーク・ライフ・バランス』の2つが今クローズアップされている」と述べられました。

この後、「キャリアの変遷振り返りシート」、「キャリア・アンカー・チェック」の記入など、複数のワークを挟みながら、年代ごとのキャリア（仕事人生）の発達課題、キャリア開発に欠かせない「物事の見方・考え方」と「行動習慣」のモデルパターン、やる気を維持するための「キャリア・アンカーの活かし方」などの講義が続き、受講者はキャリア開発を進めるうえでのさまざまなポイントを学びました。

高見さんは最後に「上司との関係性は大事なので、積極的なコミュニケーションを」とアドバイスし、「5年後の自分に必要なスキルをこれから考えてみてください！」と受講者に呼びかけられました。

（平成25年9月25日開

催）

[← 戻る](#)

[↑ このページの上部へ](#)

アバンセ 佐賀県立男女共同参画センター
佐賀県立生涯学習センター

アバンセ
佐賀県立男女共同参画センター・佐賀県立生涯学習センター

〒840-0815
佐賀県佐賀市天神三丁目2-11(どんとどんの森内)
TEL:0952-26-0011 FAX:0952-25-5591

開館時間

火曜～土曜日：8時30分～22時00分
日曜・祝日：8時30分～17時00分
(ホールは22時00分まで)

[アクセス・交通機関のご案内](#)

 [お問い合わせ/ご意見・ご要望](#) ▶

【指定管理者】[公益財団法人 佐賀県女性と生涯学習財団](#)

Copyright (C) 2011 Avance All rights reserved

休館日

毎週月曜日(祝日も含む)

12月29日から翌年1月3日まで